

8月4日(木曜日) 杉林の整備をしよう

「皮はぎおもしろい!!」 子ども達大満足

【参加者: 池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中

10名】



モリメイトさんて
森が好きなんや



木をチェーンソーで伐る
の初めて見た。すごいな



いくらでも
めくりたくなるな



つるつる。気持ちいい！



私も子どもと一緒に
無中になってます



必死に
なるな



「子ども達体験倶楽部」より「子ども達に森での体験をさせてほしい」との依頼を受け準備を進めてきたイベント「森の整備をしよう」を8月4日に実施した。

サブコテージにモリメイト4名が迎えに行きモリメイトフィールド内の杉林まで誘導。元気に挨拶をしてくれる子ども達・保護者・スタッフを迎えイベントが始まった。

初めに代表が挨拶し、今日の流れを説明した後、自作の本「森林公園のモリメイトさん」を使い、モリメイトがどのような活動をしているのか子ども達にもわかるように話しながら、森林を守り、持続可能な循環型の社会を大切にして活動していることに気づいてもらうように話を進めていった。

その後は、杉の除伐の見学。倒す方向を決め、その方向に倒れるようにチルホールを使って引っ張ること、受け口を作ってから伐ることなどを話した後、除伐。子ども達はおどろきの声を上げ倒れていく木を目で追っていた。

次は、いよいよ杉の皮はぎである。皮を持ち上げスーッと引っ張ると気持ちよくはがれていく初めての感覚に驚きの声を上げていた。次から次へと皮をむきながら現れてくる樹肌を手袋を脱いで触り、すべすべの感触を楽しんでいた。



今日一日雨をも降らず暑くもなく、「子ども達体験倶楽部」の皆さんと一緒に楽しい1日を過ごせてよかった！

参加者からメッセージ

子ども達にやさしく接して下さりありがとうございました。子どもにとって丸太の皮はぎの達成感は爽快だったようです。貴重な体験をさせていただきました。

8 月 18(木曜日) サギソウが見ごろに

【参加者：池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、中、濱田

計10名】



森林公園のサギソウ園ではしらさが翼を広げたような形の白い小さな花「サギソウ」が見ごろを迎えていた。日当たりのよい湿地に生えるラン科の多年草である。年々森林公園の自生地「サギソウ園」でも環境変化などで減ってきていたのであるが今年は去年よりも多く咲いているように感じる。

清涼感を感じさせてくれる涼やかなサギソウを見てあと少しの夏も乗り切れそうである。

この後、モリメイトフィールド

の草刈りと杉林の下草刈りを行った。

昼食後、雨が降り出したため午後からの作業は中止して解散となった。



8 月 20 日(土曜日) 丸柱で里山交流会

「モリメイト」から4名、名張の「東山ふれあいの森」から2名、「アグリノ杜」から2名。「美旗・春日の森」から2名、「森づくり三重」から1名、丸柱の「里山を知る会」から2名の計13名が参加。時間が足らずお互いの自己紹介と活動報告だけで終わってしまったのが残念であった。もう少し突っ込んだ議論があってもよかったのではと思う。しかし、これからの活動に生かしていけるものを持ち帰ることができたと思うし、今後もこのような交流の機会を持つことでさらにつっこんだ議論の場にしていけると思う。

